

学童保育にすでに登録いただいている児童につきましては、普段使っています学童保育コーナーあるいは、一部コーナーを開けずに児童館の方に集約をして実施するところ、普段通っています学童保育に来ていただく。これが一年生から三年生の取り扱いです。

できるだけ学童保育の人数が過密にならないように、4年生から6年生については学校の方での受け入れ、放課後の時間にお家に帰るということができないお子さんについては学校が終わってから学校での受入が終わってから学童保育の方に来ていただくということになります。これがいずれもすでに学童保育に登録をされているお子さんということになります。

その他質問事項

- ・本市の児童虐待対応について
- 1) 警察との情報連携 2) 児童相談所の夜間対応について
- ・保育人材確保施策について



3月5日予算特別委員会 教育委員会関係

新型コロナウイルス感染症対策について

Q 大井としひろ議員

新型コロナウイルス感染症対策として神戸市の対応方針について伺います。



A 教育次長

臨時休業期間におきましては極力外出を避け、各ご家庭で子供を見守ることを基本に児童を学校園で受けることにより、感染拡大とならないよう、教育委員会一丸となって取り組んでまいりたいと考えております。

Q 大井としひろ議員

特別支援学校の放課後デイサービスの朝からの費用負担について、当市として補助する予定はないのか、伺います。

A 担当課長

デイサービスの負担ですが、金額の方は今ちょっと手元がないんですけれども、ある程度の上限が設けられそれ以上の負担は出ないということで聞いています。

その他質問事項

- ・スクール・サポート・スタッフについて
- ・東須磨小学校の未来について
- ・総務課係長の自死問題について



2月26日神戸市会頭書予算案について、会派を代表して代表質疑を行いました。

ガラスびんのリサイクルについて

Q 大井としひろ議員

ガラスびんのリサイクルについては、平成23年度の資源化量250トンから平成29年度では4,600トンまで改善されたが、依然として、本市の住民一人当たりのガラスびん分別基準適合物引渡量、



新型コロナウイルスに関する情報は、神戸市ホームページにてご確認ください。

市内患者の発生状況や、感染拡大防止に向けた情報、各区の保健センターの連絡先など、最新の情報を随時配信しています。

<https://www.city.kobe.lg.jp>

資源化量は全国平均や政令市、県内において低位であり、平成29年度年次レポートから推算すると、本市のガラスびんの半分以上が資源化されていない。資源化推進のためには、缶・ペットボトルと分けてガラスびんのみを単独排出が重要であり、令和2年度には排出状況の調査が予定されているが、令和4年度からのびん単回収の全市展開に向け、今後どのように取り組むのか、見解を伺いたい。

A 副市長

御指摘のとおり、3種混合収集でありますために、十分な資源化が図られてこなかったところでございます。

平成30年度の市民1人当たり資源化量は、お話にありました2.79グラムとなり、以前に比べまして資源化が図られてはいるものの、御指摘のとおり、政令指定都市の中では低い水準である、これは事実でございます。

現在、ガラス瓶は3種混合収集を実施しておりますため、ガラス瓶のみの排出量の詳細なデータが把握できておりません。そのため、令和2年度は、まずは全戸から抽出した対象ステーションで排出実態調査を行い、排出量や排出状況等の詳細なデータを収集したいと考えております。市民の方々への意見聴取も行き、令和4年度のガラス瓶の単回収について、費用対効果を踏まえ、市民の方々から理解が得られるような方策を十分検討してまいりたいと考えております。

神戸空港の今後の展開について

Q 大井としひろ議員

昨年の「関西3空港懇談会」において、発着枠の拡大や運用時間の延長などが決まり、来月3月29日に運用時間が23時まで延長されることに伴い、発着枠も上限の80回に達する見込みとなる。関西3空港懇談会において、概ね2021年頃までに実現をめざす取り組みとして、神戸空港については、プライベートジェットの受入を推進することやCIQ体制整備等についても、関係省庁に理解・協力を求めていくこととされているが、現在の神戸市の取り組み状況について伺いたい。



A 岡口副市長

運用時間を22時から23時まで延長することとあわせて、今後、ニーズの高まりが予想されるプライベートジェットの受け入れの推進と必要なCIQ体制整備等の関係省庁への理解・協力を求めていくことなどにつきまして、関経連を初め関係自治体などに御理解を得て合意をいただきました発着枠の拡大によりまして、これまで3都市で新規就航が実現をいたしました。昨年の神戸空港の利用者は過去最高の329万6,000人を達成いたしました。運用時間の延長につきましても、国土交通省において必要な管制官の増員なども対応していただけることになりました。今後、あらゆる機会を通じまして、関西の総意として、CIQ関係省庁に働きかけを強化していくとともに、神戸空港のプライベートジェットの受け入れ空港としての認知度を高めるための取り組みを行っていきたくと考えております。

その他質問事項 ・国際経済戦略について ・神戸港の港勢について

質疑の詳細については、大井としひろ公式ホームページ議会発言録をチェックしてください。ご意見をお待ちしています。

令和2年度の予算審議しました。

一般会計	8,387億円
特別会計	6,708億円
企業会計	3,496億円
予算総額	1兆8,591億円

令和2年度予算 主な新規・拡充事業

教育

いじめ・不登校への早期対応 494,370千円

・スクールソーシャルワーカーやスクールカウンセラーの配置・拡充

学力向上のために特色ある英語教育の推進 1,228,019千円

・ICT環境の整備

中学校給食の負担軽減策 330,000千円

・年間57,000円程度の給食費→28,500円程度へ(所得制限なし)

※就学援助世帯はこれまで通り全額無償

学校施設安全対策 別途2月補正 2,628,000千円

・学校園の建築物等について危険性の高い不具合箇所の対策工事

教師の多忙化対策 124,625千円

・スクール・サポート・スタッフの配置拡充

学校園のトイレ改修 別途2月補正 2,315,600千円

・学校園におけるトイレの環境改善を図るため洋式化改修工事

・小学校27校、中学校23校



環境

ゴミ出しの取組推進 185,940千円

・カセットボンベ、スプレー缶の排出ルールの変更(穴あけ不要へ)

・ひまわり収集の対象要件の緩和

※65歳以上の一人暮らしで「要介護2以上」→「要介護1以上」



子育て・保育

学童保育の充実 1,108,253千円

・学童保育施設の整備 ・午前8時開設実施施設の拡大  
・来退所等管理システムも導入 ・障がい児への支援

こうべこウェルカムプレゼント 173,110千円

・第一子:1万円 第二子:1.5万円 第三子以降:3万円  
相当のカタログギフト

3歳児視覚検査の充実 30,423千円

・視覚異常の早期発見のため、3歳児健康診査で屈折検査機器の導入、  
視能訓練士による視覚評価を行う

保育所 3,204,742千円

神戸市全体で1,000人分の定員拡大

・病児保育の拡大(18か所→22か所)  
・休日保育の拡大(3か所→5か所) ・保育人材の確保支援

産後ケア事業の充実 37,397千円

・利用者負担の引き下げと実施施設、利用可能日の拡大

幼児虐待防止策の強化 7,555千円

・児童虐待に係る相談・通報への対応強化、弁護士配置



福祉

救急医療体制の充実 54,220千円

・市内3か所の急病診療所を1か所増設

認知症「神戸モデル」の推進 309,921千円

・早期診断・早期発見のための診断助成制度と認知症と診断された方を対象とした事故救済制度を組み合わせ「こうべモデルの推進」

運転免許返納促進施策 60,606千円

・市内65歳以上、マイナンバーの申請・所持の要件で  
交通系ICカード配布(5,000円分)

障がい者支援センターの配置 917,560千円

・相談支援の充実

高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施 123,428千円

・医療専門職による訪問指導や健康相談の実施

がん支援の拡充 3,000千円

・AYA世代に対する費用半額補助

生活保護制度の適正化 81,662千円

・不正受給対策のために警察OBの増員

ひきこもり支援の充実 43,262千円

・ひきこもり支援室の機能強化、家庭訪問、  
専門チームの派遣



上記は抜粋したものです。詳しくは神戸市のホームページをご覧ください。

<https://www.city.kobe.lg.jp>

QRコードを読みとればスマートフォンでご覧いただけます。



QRコードを読みとればスマートフォンでご覧いただけます。

